

# ハートラちゃん教室

～海での事故予防～

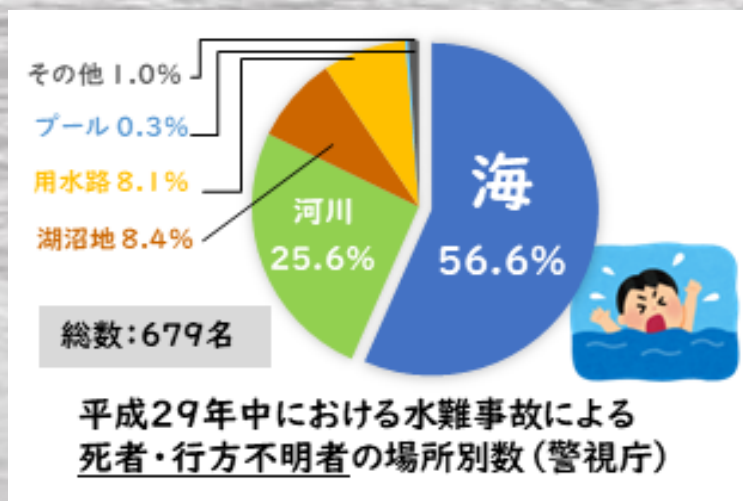


日本赤十字社 埼玉県支部  
Japanese Red Cross Society

夏といえば・・・海！

海は、広くて大きく、楽しい場所。  
でも、危険もかかれています。

右のグラフの  
とおり、水難  
事故の半数  
以上が海で  
起こっています。



楽しいはずの海遊びを、  
悲しい思い出にしないために、  
水の事故を予防しましょう。

海の写真を見ながら、  
どんな危険があるか考えてみましょう！



# 答えはこちら!

いくつか見つけられましたか?

海は、地球上でもっとも大きく、お天気によっていろいろ変化します。波や流れなど人の力でどうすることもできない力を持っているので、十分な注意を忘れないようにしましょう。

このほかにも、防波堤や栈橋のところは、海底が深くなっているのが気をつけましょう。

## ごみ

海岸には、ガラスのかけらや釣り針などのゴミが流れ着いていることがあります。

## 波

波の大きさは、海底のちがいによって、変化します。波が高いときの水遊びや水泳はやめましょう。

## 磯・岩場

ゴロゴロした石が多いので、すべりやすいです。

## 河口

川が海に合流する地点のこと。流れが強く複雑になっています。

## 波消しブロック

すき間に落ちないように気をつけましょう。



## 透明度

水の透明度が不安定な場所もあります。

## 巻き波

海底が急斜面だと波が一気に大きくくずれます。巻き込まれると海底にたたきつけられます。



## リがなりゅう 離岸流

岸から沖に向かう流れのこと。地形や波、風の向きや強さによってさまざまな形に変わり、つかまると沖に流される。



危険な生物にも  
注意しましょう！

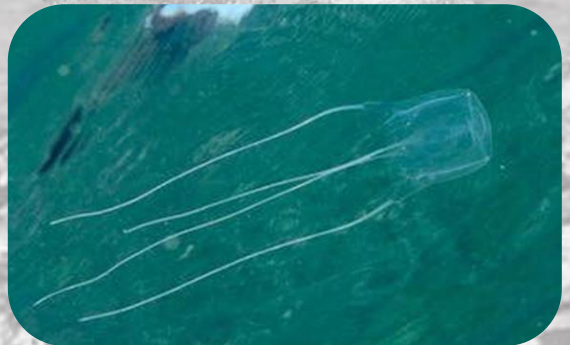


## カツオノエボシ

触手にふれると強い灼熱痛を感じ、ミズ状に腫れたり、水ぶくれになることもあります。ショック症状、おう吐、呼吸困難をおこすこともあります。刺されたら、素手で触らないようにして海水で洗い流します。急いで医療機関に搬送してください！

## アンドンクラゲ

刺されるとチクッと痛み、米粒状に赤く腫れます。水疱ができ発熱することもあります。手当ては、カツオノエボシと同じです。





## ミノカサゴ

刺されると激痛があり、時間が経過すると局部が腫れて紫色になります。顔面が蒼白となり、吐き気、むくみ、関節痛などがおこります。刺されたら、とげが残っていたら、とげを抜きます。傷口を清潔な流水でよく洗い、毒は、熱で急速に分解するので、40～45℃のお湯に傷口を浸します。または、ビニール袋にお湯を入れ患部に当てます。必ず医師の診察をうけてください！

## エイ

尾にとげがあり、それに刺されると深いきずを負います。刺された瞬間は激痛を覚え、しばらくは刺すような痛みが続きます。きずの周囲が腫れ、全身がショック状態になります。手当ては、ミノカサゴと同じです。



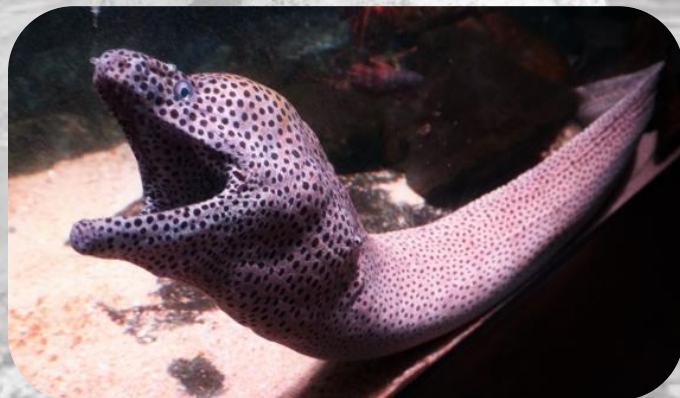


## ウミヘビ

かまれると、2時間以内に手足や舌をはじめとする全身の筋肉痛や呼吸困難といった症状がおき、死亡することもあります。きず口を清潔な流水でよく洗い、必ず医療機関に搬送してください！

## ウツボ

岩穴などに生息しているので、気づかずに手を近づけたり穴に手を入れたりして、かまれることがあります。指先なら、かみちぎってしまうほどの力があるので、要注意！



# 3つの約束を守って 遊みましょう!

- ① 水中の生き物には、むやみに手をださない
- ② 異常や危険を感じたら、すぐに水からあがる
- ③ 刺されたり、かまれたり、傷を負ったら、  
すぐに手当をする



# もっと知りたい人へ

★日本赤十字社埼玉県支部の  
ホームページから講習会に申し込んでね!

★日本赤十字社埼玉県支部  
公式YouTubeの動画もみてね!

